

#### (4) 港 湾

○酒田港における輸移出入貨物取扱量は、平成4年以降、350万～400万トンの範囲内で横ばい状態が続いており、平成15年にはじめて400万トンを超え、平成17年は過去最高の410万トンとなったが、平成21年は289万トンとなった。

平成21年の外国貿易は、輸出が120,959トン、輸入が1,520,751トンであった。輸出入の品目内訳をみると、輸出では「金属くず」と「窯業品」で全体の84.3%を占め、輸入では、石炭で95.2%を占める現状にある。なお、石炭145万トンについては主に、中国、オーストラリア、韓国より輸入されている。

酒田～釜山定期コンテナ航路は平成7年5月9日に開設し、週2便体制で運行されていたが、平成20年2月から週1便体制となり、現在次の航路が民間会社で運営されている。

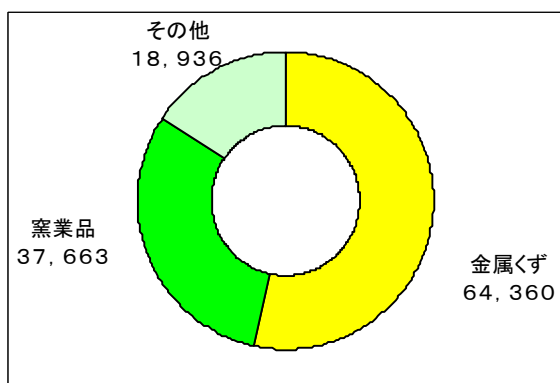
##### (1) 酒田～金沢～境港～釜山～秋田～酒田

取扱個数をみると、平成11年までは順調に伸びていたが、平成12年、平成13年は5,700個台で推移した。平成14年に一旦減少したものの、その後増加に転じ、平成18年には7,591個と過去最高となったが、平成21年は4,605個となった。

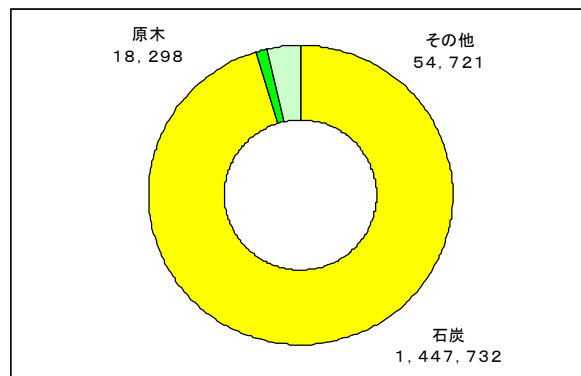
【表46】輸移出入貨物取扱量の推移 (単位；t)

区分	平成元年	平成6年	平成11年	平成16年	平成21年
輸移出	339,599	356,256	532,154	971,549	735,380
輸移入	2,732,848	3,224,185	3,190,470	2,761,587	2,162,540
計	3,072,447	3,580,441	3,722,624	3,733,136	2,897,920

【図16】輸出貨物品種 120千トン



【図17】輸入貨物品種 1,520千トン



資料：酒田港統計年報

【表47】釜山定期航路の利用状況 単位：TEU

区分	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
コンテナ	6,903	6,736	7,591	7,052	6,052	4,605
便数	71	86	83	68	57	51
1便当り	97.2	78.3	91.5	103.7	106.2	90.3

資料：酒田港統計年報